

## 塾長杯ソフトボール大会 全塾本選 大会要領

●大会に関する連絡事項は、申込フォームに入力された携帯電話とパソコンのメールアドレスへのメール送信、および塾生 HP (<http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/event/index.html>) への掲載により行われる。日程変更等重要な連絡を行うので、よく確認すること。

●当日人数不足で棄権することがないように、参加者の予定を確認した上で申し込むこと。

### <開催情報>

日時 : 2022年12/3(土)、4(日) ※予備日12/10(土)、11(日)

場所 : 日吉キャンパス陸上競技場

※10時～16時半までに試合を組み、1チームにつき1日1、2試合行う(最大3時間程度)。勝ち進んだ場合は最終日まで出場することになる。雷雨や大雨の場合は当日の朝7時時点の状況で開催を判断する→メールで代表者に連絡予定(小雨決行)。

参加資格 : 学部・大学院生(研究会の先生も参加可)

試合概要 : 試合は7イニングとする。ただし、1時間10分を経過した場合は新しいイニングに入らない。

- ・雨天等中断による延長は無い。時間内であれば9回まで延長戦を行なう。
- ・勝敗が決しない場合は出場選手9名によるジャンケンで決定する。

※出場チーム多数の場合は、試合時間が1時間までとなる可能性もあり。その際は、速やかな攻守交替および試合準備に協力すること。

### 募集要項

- ・募集は先着12チームとする。開催1週間前までに4チームが集まらない場合は中止とする。
- ・個人参加枠を設けるが、9人に達しない場合はチームが成立しない場合もある。
- ・審判学生も例年通り募集する。審判や設営は、参加チームにも協力を要請する可能性あり。

注意事項 : ●原則、他チームと重複して出場することはできない。ただし、個人参加で申し込みした学生は除く。

- エントリーフォームに記入された選手のみ出場可能(選手追加も可能)。この場合、追加した選手の学籍情報を [gakusei-c.hiyoshilife@adst.keio.ac.jp](mailto:gakusei-c.hiyoshilife@adst.keio.ac.jp) へ送信すること。
  - グローブ・キャッチャーマスクは大学から借用可能だが、数が十分ではない為、可能な限り各自で用意すること。
  - 車両の入構は不可。
  - 会場内は食事禁止。水分補給は、芝生以外の場所で行うこと。
  - 会場へは運動靴のみ入場可能。ヒール、サンダルなどは不可。
  - 先攻後攻は、試合開始5分前に、チーム代表者同士のジャンケンで決定する。
  - 試合を円滑に進めるため、試合開始30分前には集合すること。試合開始予定時刻において 9名揃っていない場合は失格となる。
  - 参加者は対戦相手に配慮し、野次等を飛ばさずスポーツマンシップに則りプレーすること。
- ☆カラーコーン外へ打球がノーバウンドで出た場合は本塁打、打球に野手が触らず、バウンドで出た場合は三塁打、野手が触ってバウンドした場合は二塁打とする。反対側コートの守備と鉢合わせになり、ボールが追えない場合は二塁打とする。ランニングホームランも認める。

☆外野から内野へ返球し、内野手が捕球した時点で、進塁中の次塁まで進塁できる。ただし、次塁への進塁を保証しておらず、進塁を阻止する刺殺、挟殺等のプレーは禁止していない。

☆投球前のリード、投手の暴投、捕手の後逸、盗塁(ディレードスチール等の変則盗塁も含む)は禁止する。ただし、投球後のリードによる離塁走者への牽制球は禁止せず、牽制球が悪送球の場合、次塁まで進塁しても良い。

☆陸上競技場で開催される場合は、芝生の内側をインプレーゾーン、外側をボールデッドゾーンとする。ボールデッドゾーンに出たら、原則1つの進塁権を与える。ただし、状況により審判の判断に従うこと。

☆危険防止の為、各塁においてコリジョンルールを厳格に適用する。

☆全イニング出場の場合に女子選手及び研究会の先生1人につき、ハンディとして1点を加える(最大3点まで)。但し、投手のみ、バッターのみ場合は適用しない。

☆イニング間の投球練習は初回のみ5球で、後は3球。

☆女子が投手の場合は、プレートの91cm前から投げる。

☆シートノックは20分前に集合し、両チーム7分間ずつ。

☆バットは大学が用意したもののみ使用可とする。但し、相手チームが認めた場合を除く。

☆危険防止のため、野球用やサッカー用などのスパイク(金具・ポイント式ともに)は使用禁止。

☆打者は必ずヘルメットを着用すること。捕手は必ずマスクを着用すること。

☆盗塁、投手の暴投又は捕手後逸による進塁、リードは不可とする。

☆エラー等によりボールが会場外へ大きく逸れた場合、原則的に各走者の進塁は1つまでとする。

ただし、状況によっては主審の判断に従うこと。

☆会場の周囲は陸上競技トラックで練習が行われている場合がある。危険防止のため、トラックまで無理に打球を追いかけないこと。

☆ファウルボールは攻撃側チームが拾いに行くこと。

☆出塁中も必ずヘルメットを着用すること。

☆3イニング終了時点で10点差以上ある場合は、負けているチームに続行の意思確認を行ったうえで、コールド負けを認める。

☆陸上競技場に到着次第、入口正面のテント(ない場合は机椅子がある箇所)にて検温すること。

☆コロナ陽性者が出たチームの出場は辞退扱いとする。体調不良者が出た場合も大事をとって出場辞退扱いとする。ただし、いずれの場合も誰とも接触していなければ例外とする。チーム代表者は出場者の体調を毎日確認すること。

☆親善試合が開催される場合は、その場に残っている人、審判などでチームを構成し、各自自由に行って良い(各チームがフルメンバーで参加する義務はない)。

☆広報のため、試合の様子を撮影した写真を義塾のホームページやSNSに掲載する場合がある。

☆同時により多くのメンバーの出場を可能にするため、DH制(Designated Hitter)を任意導入する。  
条件は①DH採用時は審判に申告(&相手チームとの合意)、②女子や先生をDHにした場合のハンデ点はなし(守備から外れた場合、ハンデ点は無効)、③DH導入時は投手を含めた10人打ち、  
④投手、野手、DH間の入れ替えは自由(打順変更は不可)

☆熱中症などの予防のため、こまめに水分を補給し休憩すること。

☆ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

## 感染対策について

・基本的な感染対策は以下の通り（全日程、日吉学生部学生生活担当2名が出勤し、監督する）

- ① 参加チーム個々への入退場時刻を指定する（一度に4チーム以上（15人 x4チーム=60人）が集まらないよう）→1チームの参加人数は15名を上限目安とする。
- ② 各チームに、参加者名簿の提出を義務付ける。
- ③ 参加学生に対し事前に以下の確認を行い、あてはまる場合には当日参加を認めない旨を伝える。
  - ・参加日の朝、37.5度以上の発熱あるいは風邪の症状がある。
  - ・発熱がない場合でも、息苦しさ、だるさなどの強い症状がある。
  - ・基礎疾患がある人で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある。
  - ・参加日の2週間以内に発熱やせきなどの風邪症状がある。
  - ・親族や知人など身近に陽性者や感染が疑われる人がいる。
  - ・2週間以内に海外から帰国・入国した場合や、出入国者との濃厚接触がある場合。
- ④ バット、グローブ、ヘルメット等は、極力各自で持参してもらう。個人備品の貸し借りはしないよう伝える。備品はこまめにアルコール消毒する（消毒剤を複数箇所に置く）。日吉学生部所有の共用備品（ボール他）については特に消毒を徹底する。顔面に手を触れない。
- ⑤ 原則、プレー中以外はマスクを着用。プレー中はマスクを外しても良い。
- ⑥ 待機中は、周囲の参加者となるべく距離をとるようにする。
- ⑦ 大きな声での会話や声援は控えること。
- ⑧ トイレ利用が渋滞しないよう、陸上競技場周辺に複数箇所あるトイレへの誘導を適切に行う。
- ⑨ 協生館地下の更衣室は使用不可とし、各自着替えてくるようにする。
- ⑩ 水分補給の際、ペットボトルの飲み口の衛生管理をしっかりと行うよう呼びかける（提供する飲料の箱出しをする際は、ペットボトルの飲み口を手で持ち並べないよう伝える）。
- ⑪ 関係者中に感染者が出た場合には、日吉学生部学生生活担当は、学生総合センター長、三田学生部、日吉保健管理センター、日吉運営サービス、体育研究所へ速やかに状況を報告し、関係する学生に速やかに連絡をとり必要な対応を行う。

（なお、行事实施にあたっては日吉保健管理センターに、救急備品の使用および診療（土曜日のみ）等の協力依頼をしている。）

以上